

2023年6月の天候（山形県）

目次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位更新
- 7 その他

山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田、新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2023年6月）

【今月の特徴】

○高温 ○28日、置賜で記録的な大雨 ○6月11日ころ梅雨入り（速報）

- ・米沢で28日の1時間降水量と日降水量が6月として1位を更新した。
- ・浜中と鼠ヶ関で月平均気温の高い方から6月として1位を更新した。

【概況】

月

この期間、天気は数日の周期で変化した。中旬から下旬にかけては、梅雨前線や寒気を伴った気圧の谷の影響で大雨となる日もあった。特に28日は、米沢で1時間降水量51.5mm、日降水量148.5mmを観測し6月の極値を更新するなど、置賜では記録的な大雨となった。

月平均気温は高い、村山と庄内ではかなり高い所があった。月降水量は多いから平年並、村山と置賜ではかなり多い所があった。月間日照時間は少ないから平年並。

上旬

天気は数日の周期で変化した。2日は東北南部まで北上した前線の影響で雨となり、庄内南部では大雨となった所があった。なお、4日は気圧の谷通過に伴う強風により、村山を中心に農業用パイプハウスのビニール破損などの被害が多数発生した。

旬平均気温は高い、村山と置賜では平年並の所があった。旬降水量は多い、置賜と最上ではかなり多い所があった。旬間日照時間は平年並から少ない。

中旬

期間の前半は、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、16日は上空に寒気が入り大気の状態が不安定となったため県内の広い範囲で大雨となった。期間の後半は、高気圧に覆われて晴れる日が続いた。なお、山形県を含む東北地方は、6月11日ころに梅雨入りしたとみられる（平年より1日早い、昨年より5日遅い）。

旬平均気温は高い、村山では平年並の所があった。旬降水量は多いから平年並、村山と置賜ではかなり多い所があった。旬間日照時間は平年並から少ない。

下旬

気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。28日から30日は大雨となった所があり、特に28日は大気の状態が非常に不安定となったため、米沢で6月の極値となる1時間降水量51.5mm、日降水量148.5mmを観測するなど、置賜では記録的な大雨となった。

旬平均気温は高い、庄内と最上ではかなり高い所があった。旬降水量は多いから平年並、置賜ではかなり多い所があった。旬間日照時間は平年並、村山では多い所、置賜では少ない所があった。

2 日々の気圧配置（2023年6月）

- 1日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 2日：前線が西日本から東北南部を通過して三陸沖にのびる。また、低気圧が日本海にあって東へ進む。
- 3日：前線が三陸沖から東海道沖にのびる。また、北日本は気圧の谷となる。
- 4日：低気圧が日本海北部にあって北東へ進む。また、気圧の谷が東北地方を通過する。
- 5日：本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。
- 6日：北日本は高気圧に緩やかに覆われる。
- 7日：北日本は気圧の谷となる。一方、本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。
- 8日：東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。一方、前線上の低気圧が九州の西にあって東北東へ進む。
- 9日：前線が本州南岸に停滞し、前線上の低気圧が東海地方にあって三陸沖へ進む。
- 10日：前線が本州の南岸に停滞する。一方、東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。
- 11日：梅雨前線が日本の南岸に停滞する。
- 12日：梅雨前線が本州の南岸に停滞する。また、東北地方は気圧の谷となる。
- 13日：台風から変わった低気圧が伊豆諸島付近にあって北東へ進み、東北地方は気圧の谷となる。
- 14日：梅雨前線上の低気圧が四国の南にあって東北東へ進む。引き続き、東北地方は気圧の谷となる。
- 15日：梅雨前線上の低気圧が関東の東にあって東北東へ進む。引き続き、東北地方は気圧の谷となる。
- 16日：梅雨前線上の低気圧が関東の東にあって北東へ進む。引き続き、東北地方は気圧の谷となる。
- 17日：本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。
- 18日：北日本は気圧の谷となる。一方、高気圧が中国東北区にあって南東に移動する。
- 19日：北日本は高気圧に覆われる。
- 20日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 21日：東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。一方、低気圧が朝鮮半島付近にあって東北東へ進む。
- 22日：低気圧が日本海にあって東へ進み、東北地方は気圧の谷となる。
- 23日：寒気を伴った低気圧が日本海中部にあって、ゆっくり東北東へ進む。
- 24日：低気圧が秋田沖にあって東北北部を通過する。
- 25日：東北地方は高気圧に覆われる。
- 26日：引き続き、東北地方は高気圧に覆われる。
- 27日：梅雨前線が対馬海峡から日本海を通過して東北地方へのびる。
- 28日：東北地方は気圧の谷となる。
- 29日：北日本は気圧の谷となる。一方、本州付近は日本の南の高気圧に緩やかに覆われる。
- 30日：梅雨前線が華中から東北地方へのび、前線上の低気圧が日本海にあって東北東へ進む。

3 気候統計値（2023年6月）

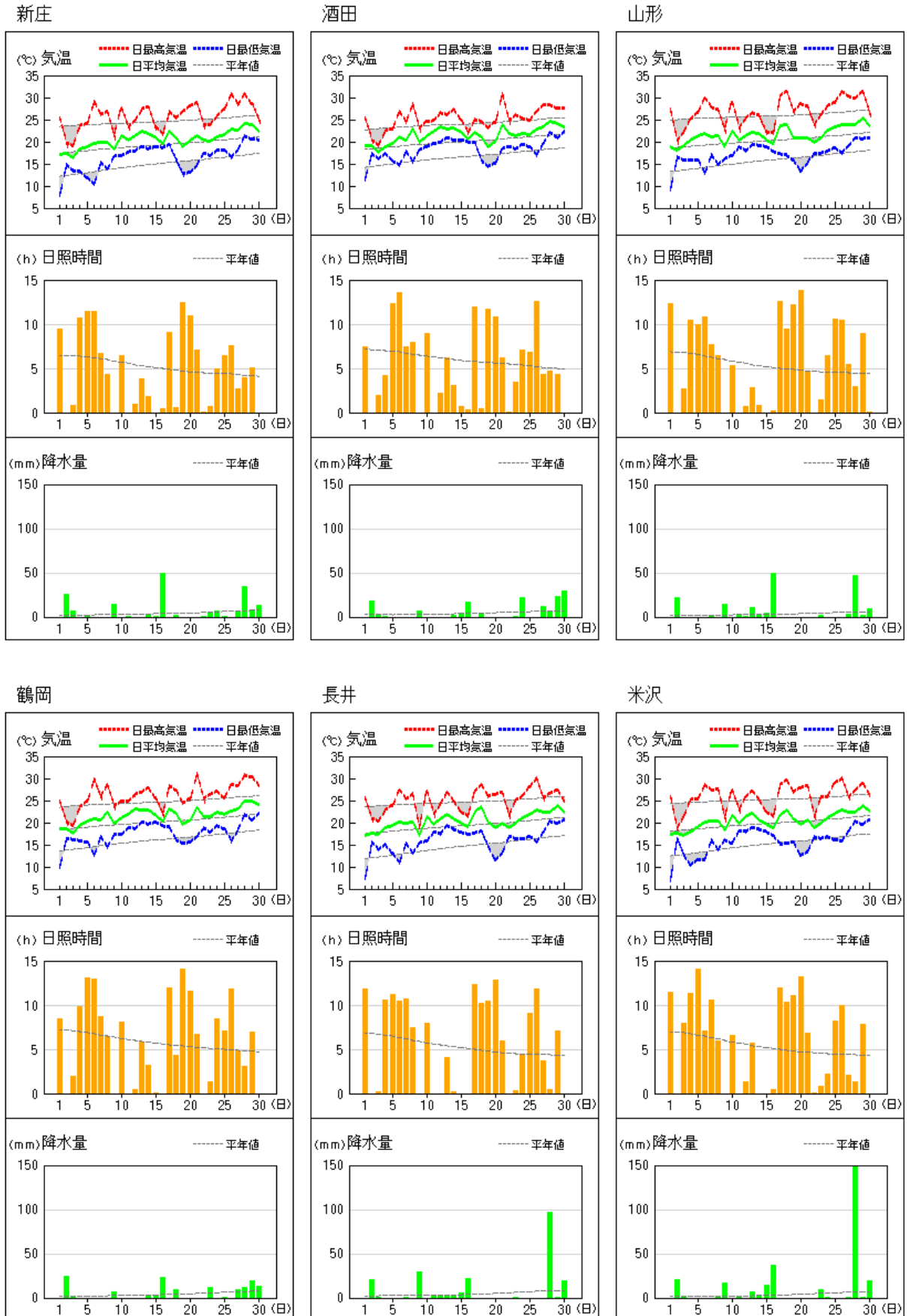
・2023年6月の平均気温、降水量、日照時間

		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	20.4	+1.2	高い	36.5	176	多い	65.7	97	平年並
	中旬	21.5	+1.2	高い	69.5	235	かなり多い	52.6	102	平年並
	下旬	22.9	+1.5	高い	63.0	116	多い	51.1	113	多い
	月	21.6	+1.3	かなり高い	169.0	161	多い	169.4	103	平年並
酒田	上旬	20.0	+1.0	高い	29.5	145	多い	63.9	90	少ない
	中旬	21.7	+1.7	高い	28.0	67	平年並	47.3	82	少ない
	下旬	22.9	+1.7	かなり高い	92.5	147	多い	49.6	93	平年並
	月	21.5	+1.5	高い	150.0	120	多い	160.8	88	少ない
新庄	上旬	18.8	+0.7	高い	47.5	228	多い	61.2	94	少ない
	中旬	20.9	+1.6	高い	54.5	135	多い	40.0	81	少ない
	下旬	22.1	+1.6	高い	72.0	111	多い	38.8	87	平年並
	月	20.6	+1.3	高い	174.0	138	多い	140.0	89	少ない
米沢	上旬	19.1	+0.4	平年並	39.0	185	多い	75.0	109	平年並
	中旬	20.8	+0.9	高い	64.0	247	かなり多い	54.1	104	平年並
	下旬	21.7	+0.8	高い	178.5	266	かなり多い	39.3	88	平年並
	月	20.5	+0.7	高い	281.5	247	かなり多い	168.4	102	平年並

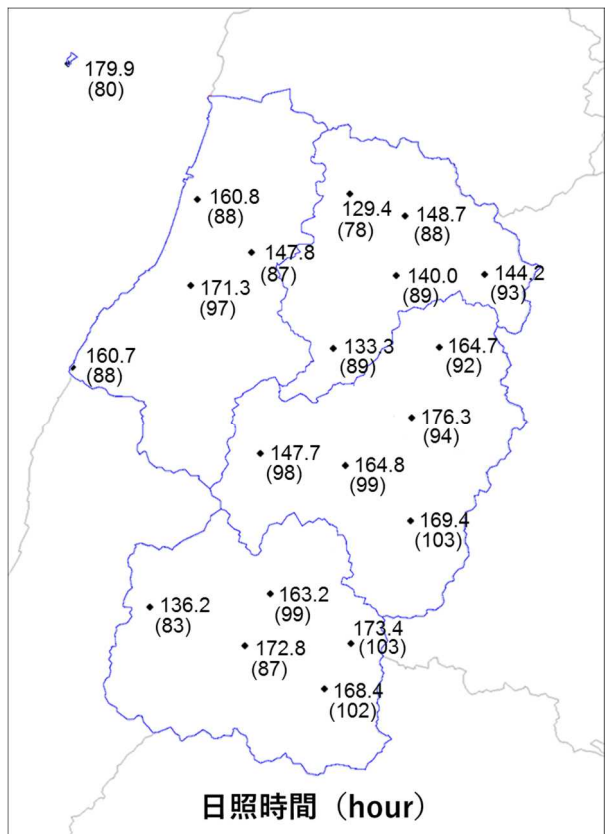
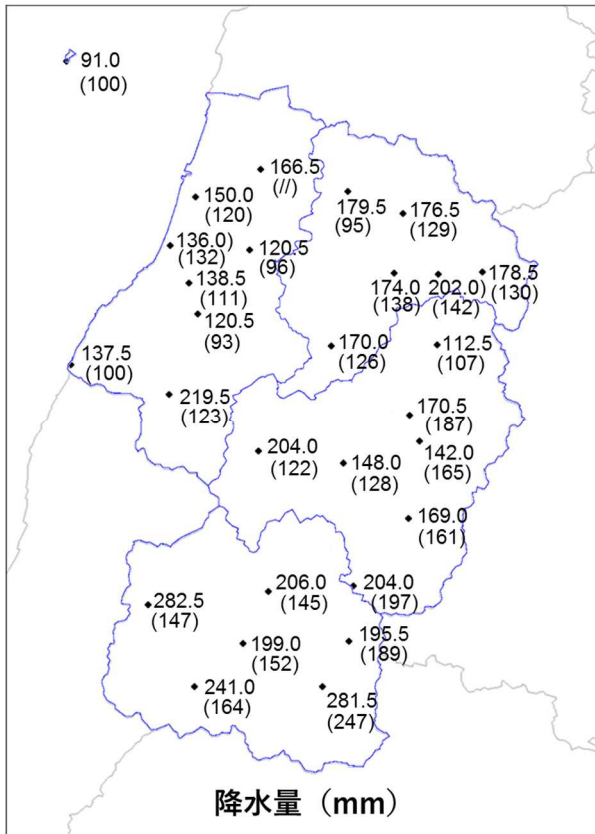
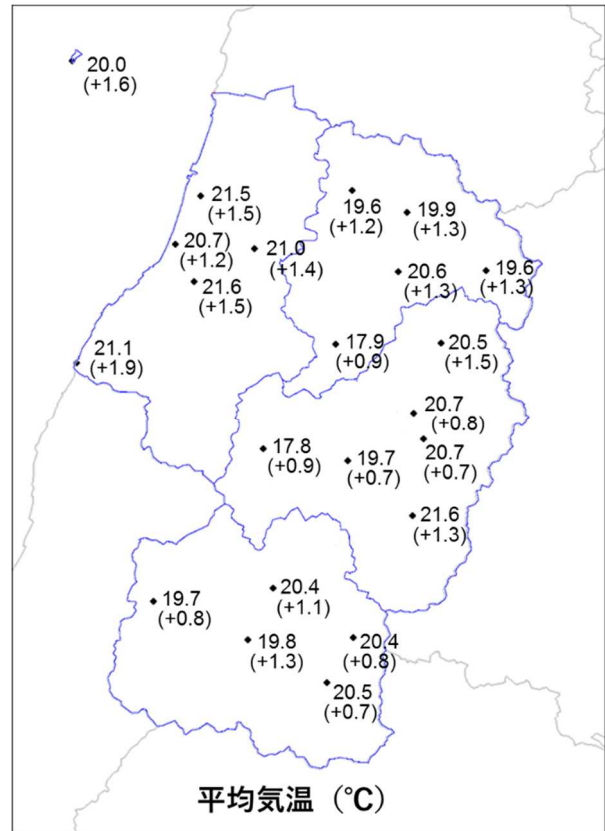
注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし (平年値は1991～2020年の平均値)

4 気象経過図（2023年6月）

アメダス 気象経過図：2023年06月01日-2023年06月30日



5 気象分布図（2023年6月）



注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991~2020年の平均値。

6 極値・順位更新 (2023年6月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄):6月として1位~3位更新を記載なし

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く):6月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日降水量 (mm)	米沢	148.5	1	28日	1976年
日最大1時間降水量 (mm)	米沢	51.5	1	28日	1976年
月最大24時間降水量 (mm)	米沢	149.5	1	29日	1978年
日最低気温の低い方から (℃)	大井沢	1.6	1	1日	1979年
月平均気温の高い方から (℃)	浜中	20.7	1	—	2003年
	鼠ヶ関	21.1	1	—	1977年
日最大瞬間風速・風向 (m/s・16方位)	村山	14.3・WSW	1	4日	2009年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

7 その他

○生物季節観測

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちょう」が紅(黄)葉した日などの植物季節観測を行っています。

【生物季節観測】(2023年6月)

種目	現象	2023年	平年	平年との差	2022年	昨年との差	観測した場所
あじさい	開花	6月26日	7月3日	7日早い	6月28日	2日早い	気象台構内

※平年値は1991~2020年の平均値

生物季節観測の2023年の観測状況は、山形地方気象台のホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/detail/phenology.html>